



長門の話題

Topics

相互の道の駅や産品の連携により交流人口の拡大を 下関・長門の両市長がPR

3月11日(日)、長門市の大西市長と下関市の前田市長が、山陰観光列車「〇〇のはなし」に乗り込んで両市の観光PRを行いました。

「道の駅ほうほく」で観光PR活動を行い、滝部駅から「〇〇のはなし」に乗り。車内で乗客らに記念品の配布など両市のPRを行いました。最後に「センザキッチン」を訪れた両市長は「互いの道の駅や産品を連携させ、交流人口の拡大や地産地消の推進を図りたい」と述べました。



▲センザキッチンの出店者と会話する両市長



▲山陰観光列車「〇〇のはなし」の乗客に魅力をPR

13,000株の花をセンザキッチンに グラウンドオープンに向け植栽

3月12日(月)、センザキッチン入口の鯨モニュメント周辺に13,000株の花「リビングストーンデージー」の苗が植えられました。

この苗は俵山小原の小田正臣さんが栽培したもので、センザキッチンのグラウンドオープンにあわせ、花壇に植えてほしいと寄附されたもので

す。移植作業には市内から約100人がボランティアとして参加し、約3時間かけてポットに入った苗を一つずつ丁寧に植えていきました。

リビングストーンデージーは、3月末から4月上旬にかけて咲き始め、赤、白、黄色といった色とりどりの花が咲き、来訪者を出迎えます。



▲仙崎地区や俵山地区などから約100人がボランティアで参加



▲色とりどりの花がセンザキッチンへの来訪者をもてなす

思いと願いを込めた鯨唄を引き継ぐ

通小学校で鯨唄引継式

3月2日(金)、通小学校で鯨唄の引継式が行われました。同校では古式捕鯨で栄えた通地区に伝わる労働歌であり、祝い唄でもある「通鯨唄」の伝承活動に昭和63年から取り組んでいます。平成2年以降は毎年卒業生から在校生に引継が行われ、今回が27回目と

なります。

通鯨唄保存会のメンバーや保護者らが見守る中、23人の児童は全員で鯨唄「祝い目出度」「朝のめざめ」を披露。6年生から5年生へ法被とぼちが引き継がれた後、在校生だけで「祝い目出度」を歌い、伝統を引き継ぎました。



▲全校児童の歌声が体育館に響き渡る

第2回ONSEN・ガストロノミーウォーキング 里山の自然と食、温泉を満喫

3月3日(土)、「第2回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin長門・俵山温泉」が開催され、県内外から参加した25人が全長8kmのコースを歩きました。

ONSEN・ガストロノミーウォーキングとは、豊かな自然や良い景色を見ながら歩き、温泉地が持つ食と文化の魅力体験するウォーキングイベントで、昨年の7月に引き

続き2回目の開催となります。今回は「ジビエ」がテーマとなっており、俵山地区で獲れる鹿や猪の肉を使ったジビエ料理が、農家の縁側や絶景ポイントなどで提供されました。

参加者らは全長8kmのコースを歩き、鹿のローストやしゃぶしゃぶ、しし汁といったグルメや自然が広がる里山の風景を堪能しました。

2月28日(水)、やまぐちブランドに認定されている「長州黒かしわ」が初めて海外へ輸出されることとなり、出荷式が深川養鶏農業協同組合山口センターで行われました。

THEATER RESTAURANT」などで提供されます。県産農林水産物などの需要拡大を進める「やまぐちの農林水産物需要拡大協議会」と深川養鶏が準備を進めてきたもので、現地のシェフの評価が高かったことから今回の輸出となりました。

香港の高級レストランに向けて輸出 長州黒かしわが初めて海外へ



▲「ジューシーで美味しい」と評価された長州黒かしわ



▲全長8kmのコースを歩く



▲各ポイントでは里山の恵みを堪能

ひとり暮らしのためのクッキングスクール

新生活を支える「食」を学ぶ

3月9日(金)、長門市保健センターで「ひとり暮らしのためのクッキングスクール」が開催され、高校を卒業して新生活を迎える6人が参加しました。

管理栄養士から食事の選び方や栄養バランスについて講話を聞いた後、長門市食生活

改善推進協議会の会員の指導のもと「ひじきとツナの炊き込みご飯」「ポークピカタ」など5品を調理。食材の切り方や手順を教わりながら、協力して調理を進め、完成後は全員で試食しました。

「学んだことを新生活で生かしたい」と参加者



▲「学んだことを新生活で生かしたい」と参加者

ルネッサながとサンクスまつり

芸術や文化に触れた二日間

3月3日(土)、4日(日)、ルネッサながとで「サンクスまつり」が開催されました。ロビーでは今回で3回目となる「Art Market Renaissance」が行われ、

市内外からガラス細工や木工細工、ハンドメイド雑貨などのクラフト製品やパン、弁当、カレーなどの飲食を提供する

約70の出店があり、来場者はお気に入りの作家の作品を手にとったり、作家と話したりして楽しんでいました。

4日(日)には劇場で長門ストリートダンス愛好会などが出演する「AMR DANCE SHOW」も開催され、多くの来場者で賑わいました。



▲作家とのふれあひも楽しみの一つ

本郷山崎遺跡発掘調査の現場説明会

県内最古級の稲作の痕跡が発掘

2月24日(土)、向津具地区の本郷山崎遺跡発掘調査の現場説明会が行われました。これは本郷地区の圃場整備に先立って、埋蔵文化財の発掘調査を行い、工事により遺跡が破壊される部分についての記録の保存を図ることを目的に昨年10月から調査が実施されていたものです。

今回の発掘調査では、県内最古級の稲作の痕跡となる弥

生時代前半の灌漑用と思われる溝や石包丁が見つかったほか、鎌倉・室町時代の集落が発見され、縄文時代から鎌倉・室町時代にかけての幅広い時期の遺物が出土しました。調査結果からこの地域は初期稲作文化の東進ルート上の拠点的な集落であったこと、石器石材入手などのための広範な交流を行っていたことが判明しました。



▲発掘調査の現場で、調査結果の説明を受ける



▲弥生時代の土器など出土品を見学

長門のPeople

フランスの家庭料理を皆さんに届けます

タサン 志麻 さん

(家政婦/東京都在住) / 深川湯本河原出身



旬な人

家事代行サービスの家政婦として、予約がすぐに埋まることから「伝説の家政婦シマさん」としてテレビなどで人気沸騰しているタサン志麻さんは長門市出身。高校を卒業後、調理師専門学校に進みフランス料理を学んだ後、フランスの三ツ星レストランなどで約15年勤務。結婚を機に家事代行サービスに転身し、現在、予約の取れない家政婦として人気を博しています。

「長門は人が温かく帰ってきたらほっとする場所」と故郷の印象を話します。「フランスでは食事が生活や文化の一部になっていて、家族の食事の時間をとても大切にしている。仕事で忙しいお母さんの負担を少しでも減らしてあげたい」と家事代行への思いを語る志麻さん。「都会では家族でゆっくり食事をする機会が少ない。作りおきのレシピなど提供し、家族で食べる時間ももっと増えていけば」と抱負を語りました。

家事代行サービスの家政婦として、予約がすぐに埋まることから「伝説の家政婦シマさん」としてテレビなどで人気沸騰しているタサン志麻さんは長門市出身。高校を卒業後、調理師専門学校に進みフランス料理を学んだ後、フランスの三ツ星レストランなどで約15年勤務。結婚を機に家事代行サービスに転身し、現在、予約の取れない家政婦として人気を博しています。

幼い頃から台所に立ち、料理に親しんできたという志麻さん



▲4/21(土)にセンザキッチンでイベント予定(9P参照)

「長門・俵山道路」最長のトンネルが貫通

31年度の開通に向け着々と

2月28日(水)、「長門・俵山道路」最長のトンネルとなる大寧寺第3トンネルが貫通し、地域住民や向陽小学校の児童、工事関係者など約230人が見学に訪れました。「長門・俵山道路」は深川湯本と俵山小原をつなぐ延長5.5kmの自動車専用道路で、平成31年度中の開通を目指しています。



▲見学に訪れた向陽小学校の児童ら

郵便局と市が包括連携協定

3月5日(月)、長門市と日本郵便株式会社長門市内郵便局との「包括連携に関する協定」の締結式が市役所で行われました。今後は地域の安全・安心な暮らしおよび災害対策に関することなど6項目にわたる連携・協力の分野について、具体的な取組が検討され、進められていく予定です。



▲協定を交わす大西市長と末武地区統括局長

※今回の帰省の様子は5月中旬にNHK「プロフェッショナル」で放送される予定です